武蔵国分寺跡周辺見どころ案内

① 市立歴史公園 武蔵国分寺跡 僧寺金堂・七重塔ほか【国史跡】

天平13年（741）、聖武天皇は鎮護国家を祈念して、諸国に国分寺〔僧寺（金光明四天王護国之寺）と尼寺（法華滅罪之寺）〕を建立するように命じました。武蔵国では国府（現府中市）に近く、都へ通じる東山道武蔵路沿いの広大な平地と東西に連なる国分寺崖線の麓、豊かな湧水をもつ現在の西元町一帯が好所として選ばれました。国府とともに政治・文化の中心として栄えましたが、鎌倉時代末に「分倍河原の戦い」で焼失したと伝わっています。武蔵国分寺跡と関連する遺跡は、東西２km、南北1.5kmにおよび、諸国の国分寺跡と比べ規模が大きく、歴史的にも重要なことから大正11年に国史跡に指定されました。

講堂跡

七重塔跡

西元町二丁目、三丁目　P なし　☎ 042-312-8682（ふるさと文化財課）

② おたかの道湧水園

お鷹の道沿いにあり、国分寺崖線の豊かな自然を残す園内では、湧水源を観察でき、季節の草木を楽しめます。園の入口にある旧本多家住宅長屋門（市重要文化財）は、代々国分寺村の名主を務めた本多家の表門と先代当主の隠居所を兼ねて江戸時代末期に建てられました。現在、内部を展示施設として公開しており、１階と２階はそれぞれ生活空間を再現した展示と近世の歴史・民俗を紹介しています。

西元町１-13-10　P なし　☎ 042-323-4103（武蔵国分寺跡資料館）
入 9:00～17:00（入園は16:45まで）。一般100円（年間パスポート1000円）、中学生以下無料（その他減免規則あり）　休 月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）、年末年始（12/29～１/３）

③ 武蔵国分寺跡資料館

武蔵国分寺跡資料館は、展示資料や解説を「見る」、「学ぶ」、そして、実際に史跡を「訪ねる」をコンセプトにした資料館です。

長年の発掘調査の成果をもとに、主に史跡から出土した資料を展示して、武蔵国分寺跡の概要や進行中の史跡整備事業などを紹介しているほか、武蔵国分寺跡に関する映像や、実際に瓦に触れて体感するコーナーもあります。文化財関係図書も販売しています。

主な展示資料：瓦、土器、塼、硯、銅製品、鉄製品など
東京都指定文化財：銅造観世音菩薩立像、唐草四獣文銅蓋、武蔵国分寺跡出土の緑釉花文皿
市重要有形文化財：立川ローム層第X層出土石斧群、硬玉製大珠、国分寺所蔵資料（旧国分寺市文化財保存館資料）、武蔵国分寺跡出土の小型海獣葡萄鏡、武蔵国分寺跡出土の金銅製円形飾金具、徳川将軍家寺領安堵朱印状

西元町１-13-10　P なし　☎ 042-323-4103　Free Wi-Fi
入 9:00～17:00（入館は16:45 まで）。おたかの道湧水園の入園料が必要
休 月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）、年末年始（12/29～１/３）

④ 史跡の駅 おたカフェ

「史跡の駅」は、全国に現在約1600か所ある「まちの駅」の一つです。トイレのある無料休憩所兼案内所としてご利用いただける他、「おたかの道湧水園」の入園券の販売や国分寺の名産品、文化財関連の書籍の販売も行っています。

また、カフェでは国分寺産の野菜を使ったメニューやコーヒーなどをお楽しみいただけます。史跡や周辺についての紹介を行い、史跡ガイド（無料・要予約）の受付もこちらです。

西元町１-13-6　☎ 042-312-2878　入 9:00～17:00
休 月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）、年末年始（12/29～１/３）

⑤ お鷹の道　【環境省選定名水百選（昭和60年）】

江戸時代に尾張徳川家の御鷹場だったことに由来して、「お鷹の道」と名付けられた散策道です。国分寺市を代表する名所として親しまれ、四季折々の自然が楽しめます。湧水群の清流には、カワムツなどの小魚や、スジエビなどが生息しています。

西元町一丁目、東元町三丁目

⑥ 真姿の池湧水群（ますがたいけゆうすいぐん）　【東京都指定名勝、環境省選定名水百選（昭和60年）、東京の名湧水57選】

嘉祥元年（848）、絶世の美女・玉造小町が重い病気に苦しみ、国分寺の薬師如来に祈ると、一人の童子があらわれ池の水で身を清めるように言いました。小町が、身体を洗うとたちまち病気が治癒し、元の美しい姿に戻ったという伝承から、この池を「真姿の池」と呼ぶようになりました。この真姿の池湧水群などの国分寺市内の湧水は、野川の源流です。

西元町一丁目　☎ 042-312-8682（ふるさと文化財課）

⑦ 市立歴史公園 僧寺北東地域（史跡武蔵国分寺跡）　【国史跡】

金堂、講堂、七重塔などの主要建物がおかれた僧寺伽藍地（寺院地）の北限の境界溝がある公園です。国分寺を取り囲む素掘りの溝は、幅2.1～3.0メートル、深さ0.8～1.2メートルあり、ここでは地下に埋没した溝の様子を復元した断面を見ることができます。

西元町一丁目　P なし　☎ 042-312-8682（ふるさと文化財課）

⑧ 国分寺楼門（ろうもん）　【市重要有形文化財】

国分寺門前にあり、前沢村（現東久留米市内）の米津寺（米津出羽守田盛の菩提寺として創建された寺）の楼門を明治28年に移築したものです。三間一戸の楼門で、２階には十六羅漢像（現在13体）を安置しています。

西元町１-13

⑨ 国分寺

医王山最勝院国分寺は、真言宗豊山派の寺院です。「分倍河原の戦い」で焼失した武蔵国分寺は新田義貞の寄進により薬師堂が再建されたと伝わっています。江戸時代に入ると徳川幕府は、由緒ある寺社に領地を与えて保護しました。国分寺の薬師堂も三代将軍家光から慶安元年（1648）に９石８斗９升８合の寄進を受け、朱印状を下付されました。以後、十四代家茂までの朱印状が残っています。享保10年(1725)には本堂も再建されたと考えられます。現在の本堂は昭和60年に改築されたものです。

西元町１-13

⑩ 万葉植物園　【市重要天然記念物】

故星野亮勝前国分寺住職が、武蔵国分寺跡を訪れる人々が、奈良時代の文化や思想を理解しやすいようにと、国分寺が栄えた時代と同時期に編さんされた「万葉集」に歌われた約160種の植物を例歌とともに展示しています。

西元町１-13 国分寺境内

⑪ 国分寺薬師堂　【市重要有形文化財】

国分寺境内にあり、建武２年（1335）に新田義貞の寄進により、僧寺金堂跡付近に建立されたものが、宝暦６年（1756）ごろに現在の場所に建て替えられました。

堂内には重要文化財の木造薬師如来坐像が安置されています。また、江戸の書家、深見玄岱が東大寺の寺額を模して書いたといわれる「金光明四天王護国之寺」の寺額が掲げられています。薬師堂の裏には、四国八十八ヵ所巡り石仏群があり、札所の番号や詠歌などが刻まれています。

西元町１-13 国分寺境内

⑫ 国分寺仁王門（におうもん）　【市重要有形文化財】

国分寺境内にあり、宝暦年間（1751～1764）に建造された八脚門です。使用している木材の一部は、新田義貞が再興した国分寺薬師堂の古材を使用していると伝えられ、『新編武蔵風土記稿』にもその話が紹介されています。

門の左右には、作者不明で享保３年（1718）に作られた阿（向かって右、口を開いている）吽（向かって左、口を閉じている）の仁王像が安置されています。

西元町１-13 国分寺境内

⑬ 木造薬師如来坐像（もくぞうやくしにょらいざぞう）　【国重要文化財】

彫眼、漆箔が施された寄木造による半丈六（高さ約1.91メートル）の像で、平安時代末ごろの作といわれています。厨子は江戸時代のもので、光背・台座・薬壺も同時代に補われています。寺の縁起では元弘3年（1333）に武蔵国分寺が戦乱に巻き込まれて焼失した際に、自ら逃げ出し無事であったと書かれています。

江戸時代には、ほぼ33年に１回開帳を行い、多くの信者を集めました。現在は毎年10月10日に開帳が行われています。

両脇の日光・月光菩薩は室町時代の作といわれ、また、十二神将の胎内からは、元禄２年（1689）の墨書銘が見つかっています。

西元町１-13 国分寺境内

⑭ 文化財資料展示室

武蔵国分寺を営繕する施設（修理院）と考えられる鍛冶工房跡が見つかった市立第四中学校内から出土した瓦、土器、鉄製品などを中心に展示しています。また、武蔵国分尼寺跡の整備事業を紹介する動画の上映や、住田正一古瓦コレクションのうち、東山道、東海道諸国の古瓦を展示しています。

西元町３-10-７　P なし　☎ 042-323-3231　Free Wi-Fi
入 9:00～17:00（入館は16:45まで）　無料
休 月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）、年末年始（12/29～１/３）

⑮ 市立歴史公園 武蔵国分尼寺跡　【国史跡】

尼寺は東山道武蔵路の西側に建立されました。現在は史跡の保存整備も終了しています。平成19年「日本の歴史公園100選」に選定されました。公園には尼寺の主要伽藍の規模、基礎工事の様子を見学できるように、掘立柱塀の一部復元や、東門、中門の位置表示、尼坊の礎石復元、推定金堂跡の基壇復元、基壇版築のはぎ取り標本の観察施設などがあります。

西元町４-３、４、11　P なし　☎ 042-312-8682（ふるさと文化財課）

⑯ 伝鎌倉街道　【市重要史跡】

鎌倉時代に、のちの江戸時代に鎌倉街道と呼ばれる道が開かれました。この道は鎌倉道の「上道」と呼ばれ、上野（群馬県）、信濃（長野県）方面に向かう主要道路の一つでした。現在、約120メートルほどの、国分寺崖線を切り通した道が、当時の雰囲気を感じさせてくれます。

西元町４-11、12　P なし　☎ 042-312-8682（ふるさと文化財課）

⑰ 伝祥応寺跡・塚跡

尼寺跡から伝鎌倉街道の切り通しに入って、約90メートルのところで西側の階段を上がると伝祥応寺跡、東側を上がると塚跡があり、いずれも中世の遺跡です。伝祥応寺は、本多四丁目の祥応寺の前身寺院であったといわれ、塚も伝祥応寺跡と関係する修法壇跡と推測されています。鎌倉街道沿いに中世の寺院と塚が残っている点でも貴重な遺跡です。

西元町４-11、12　P なし
☎ 042-312-8682（ふるさと文化財課）

⑱ 東山道武蔵路跡（とうさんどうむさしみちあと）　【国史跡】

東山道は、駅制に基づいて７世紀後半から８世紀前半にかけて整備された都と地方の国府を結ぶ幹線道路（七道）の一つです。

東山道武蔵路は、武蔵国が東山道に属していた時代に、都から信濃国（現在の長野県）や上野国（現在の群馬県）を経由して東へ走る東山道本道から分岐し、武蔵国へ南下するための支路です。泉町二丁目一帯では約340メートルにわたる直線道路跡が発掘され、現在は側溝跡や道路幅をアスファルト上に平面表記しているほか、遺構再生展示もあり、その広大さに当時の姿を実感できます。

市立歴史公園 史跡東山道武蔵路

泉町二丁目ほか　P なし
☎ 042-312-8682（ふるさと文化財課）

ぶんバス万葉・けやきルート

※時刻表一部抜粋

バス停名（副停名）	７時～20時（往路）	７時～20時（復路）
史跡武蔵国分寺跡（南門跡前）	0	—
黒鐘公園入口（国分尼寺跡入口）	1	44
西元町二丁目	2	43
国分寺市役所	4	41
西国分寺駅東	10	38
郵政宿舎前	10	33
武蔵国分寺公園東	11	32
国分寺駅西（本町・南町地域センター）	15	29

●平日、土休日共通とし、午前７時台から午後８時台までの60分毎に１便の１日14往復。
●運賃は 200 円（小人 100 円。未就学児は無料）
障害者 100 円（障害者手帳等の提示必要）
回数券は使用可。
●東京都シルバーパスはご利用になれません。
●お問合せ先　国分寺市交通対策課（042-312-8673（直通））